

〈第6学年の実践〉

I 総合的な学習の時間 学習指導案

平成29年11月28日(火)

- 1 単元名 『平和学習パートII 今、世界の平和は～これからの自分にできること』
(総時数20時間)

2 単元の目標

- ・1学期の平和学習を土台として、平和という観点から今の世界の情勢について調べ、これからの自分にできることを探す。
- ・「マイテーマ」について調べ、各自が自分にできることを交流させ、考えや思いを深める。

3 単元の評価規準

育てようとする資質や能力、及び態度	単元の評価規準
学習方法に関すること (問題を解決する力) ①課題設定の力 ②情報活用の力 (情報収集の力、思考・判断力) ③表現力学習方法	<ul style="list-style-type: none">・世界情勢を見渡す活動を通して課題を設定することができる。・調べたいことについて、今市っ子図書館やパソコンルームを活用して情報を収集し、整理することができる。・調べたことをまとめ、伝えることができる。
他者や社会との関わりに関すること ④社会参画の力	<ul style="list-style-type: none">・平和実現に関する「ひと・もの・こと」について、自分から進んでかかわることができる。・友達や地域の人たちと平和への思いを共有しながら、協力して活動を進めることができる。
自分自身に関すること ⑤自分の生き方を考える力	<ul style="list-style-type: none">・様々な人たちの努力によって築き上げられた平和を大切に思うをもって生活しようとするすることができる。・自分や友達のよさに気付くことができる。

4 単元設定の理由

- (1) 児童の実態
(2) 内容について

日本は今年で戦後72年を迎えた。昨年は現職としては初めてオバマ米大統領(当時)が広島を訪問し、被爆国である日本に寄り添う姿勢を示した。また今年のノーベル平和賞には国際NGO「核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)」が選ばれ、核兵器のない平和な世界の実現に向けて、国際社会の関心が一層高まっていることを印象付けた。世界平和は人類共通の願いである。それにも関わらず、世界中を見渡すと北朝鮮による度重なるミサイル発射実験や、シリア政府軍・親政府勢力とイスラム過激派組織「イスラム国(IS)」による紛争、各地で繰り返されるテロ事件など、平和を脅かす事態が相次いでいる。

このように緊迫する世界情勢の中、児童がこれらの事態に関心を持ち、平和へのメッセージと具体的な行動を考え実行に移していくことは、未来における平和な国際社会の実現に大きく資するものであると考える。また5年時の今市タイムで地域の歴史や産業、社会科で国内の産業や貿易について学習した児童にとって、本単元は世界に目を向け国際協調の態度を養うきっかけになると考える。

- (3) 教師の願いと手立て

本単元では、平和学習パートIで培った平和への視点を現代の世界に広げる活動に取り組む。世界で起きている平和を脅かす事象に目を向けることで、世界平和を実現させるために自分ができることを主体的に考えさせる。指導にあたっては、今市っ子図書館と連携しなが

ら単元を展開していく。具体的には、学校司書との平和に関する図書の選書、情報カードによる情報の整理、イメージマップやKWLシートなど思考ツールの活用などである。このように今市っ子図書館を学習センターとして活用することで、児童は必要な情報を整理し、より効果的に情報を発信する力を伸ばすことができると考える。本時の学習は、今市っ子図書館で活動に取り組む。調べ学習に用いた図鑑や年鑑が近くがあれば、より詳しいプレゼンテーションができると考えるからである。児童はこれまでに調べた世界の現状を要約カードにまとめ発表する。要約カードは、①テーマ設定の理由、②世界の現状や調べて分かったこと、③自分の考えや主張、の三段構成とする。このようにすることで、児童に構成を考えて主張や結論を述べる力を付けたい。発表する相手は、自分とは異なるテーマで学習に取り組んだ友達を設定する。様々なテーマの友達が集まり質問や意見を出し合うことで、自分の考えを更に広げ、新たな課題を見つけ考えを深めていくことにつながると考える。発表後の質疑応答・意見交換を経て、児童は発表者に対するコメントを付箋に書いて渡す。自分の発表に対するコメントをもらうことは、調べて発表することについて自信を深めたり新たな課題に気づいたりすることにつながると考える。

5 単元指導計画【全20時間】

主な学習活動 ・予想される児童の意識の流れ	時	教師の支援	育てたい力			各教科等との関連
			学習方法	自分自身	他者や社会	
【課題設定】 ○1学期の平和学習を振り返り、現在の世界情勢から「マイテーマ」を設定する。 ・広島に落とされた原子爆弾で、大きな被害を受けた。 ・戦争中、人々は苦しい生活を送っていた。 ・今、日本は戦争をしていないけれど、平和といえるかな。 ・世界には、まだ戦争をしている国がたくさんあるよ。 ・世界で起きている問題について調べてみたいな。	2	平和学習や情報カードのファイルからこれまでの学習を想起しやすくさせる。 イメージマップを用いて、平和に関する世界の諸問題に目を向けさせる。	世界平和実現のための学習計画を立てることができる。	自分と世界の平和を結びつけて考えようとする。	世界で起きている戦争などの諸問題に目を向けることができる。	社会科
【情報収集】 ○「平和」という観点から、今の世界情勢がどのようになっているか調べる。 ・この1年間だけでも、北朝鮮はたくさんのミサイル実験を繰り返しているな。 ・ヨーロッパや中東でテロがよく起きているな。 ○地域の方から戦争体験の講話を聞く。 ・身近な地域にも、戦争で苦しんだ方がたくさんおられるな。 ・必死で生きようとする意志を私たちも持ち続けたいといけな。	10	目的意識をもって活動できるように、予めワークシートに知りたいことや聞きたいことを記入させておく。	調べて分かったことを情報カードに記録することができる。	平和の尊さを感じながら活動しようとする。		国語科
【整理・分析】	2		大切なことをメモしながら聞くことができる。		戦時中の様子を詳しく知るために、地域の人々と進んでかわり学習を進めようとする。	

<p>○集めた情報をもとに、「世界の平和を実現していく」という観点から、自分にできることを整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北朝鮮のミサイル実験には、政治的なねらいがあるらしい。 ・テロ事件を未然に防ぐには、国際社会の協力が大切だ。 <p>【まとめ・表現】（本時1／6）</p> <p>○異なったテーマの友達に向けて、一人で「平和を実現していくために」というテーマでプレゼンテーションを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことを友達に聞いてもらおう。 ・自分の意見が伝わるかな。 <p>○同じテーマの友達とグループを組み学級全体に向けてプレゼンテーションを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じテーマの友達とグループを組んで、もっとたくさんの情報や意見を発信しよう。 <p>○保護者の方に向けて、グループでのプレゼンテーションを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちの平和への思いを、大人の人にも聞いてもらおう。 <p>○本単元の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平和への思いが友達や保護者の方に伝わって嬉しい。 ・これからも戦争や平和についてのニュースに関心を持とう。 	6	<p>書きためた情報カードから伝えたいことを選び取り、要約カードに整理する。</p> <p>聞き手を意識して発表できるように言葉かけをする。</p> <p>自分のよさやがんばりに目を向けられるように言葉かけをする。</p>	<p>プレゼンテーションを意識して情報を選ぶことができる。</p> <p>相手に伝わりやすい構成や方法で発表することができる。</p> <p>自分のよさを見つけたり平和の尊さを感じたりしようとする。</p>	<p>平和実現のために自分にできることを考えることができる。</p> <p>保護者の方と平和への思いを共有しようとする。</p> <p>友だちや地域の方との関わりに目を向け、今後も協力して学習に取り組もうとする。</p>	<p>国語科</p> <p>友達のプレゼンテーションに関心を持ち、質問したり感想を述べたりすることができる。</p>
--	---	---	---	--	--

6 本時の学習

(1) ねらい

- 「平和実現のために自分にできること」というテーマでプレゼンテーションを行い友達と交流する活動を通じて、考えを広げたり深めたりする。

(2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応（・）	○教師の支援 ◆評価
<p>1 本時のめあてと学習の流れを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「平和実現のため、これからの自分にできること」を発表し合い、考えを交流させよう。</p> </div> <p>2 他のテーマを設定した友達とプレゼンテーションを見合い、平和実現のための意見を交流させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北朝鮮のミサイル発射実験をやめさせるためには、きちんと話し合いの場を持つことが大切だ。 ・食糧問題を解決するには、先進国からの食糧支援を続けていく必要がある。 ・日本がテロ被害に遭わないためには、外国から情報をもらって訓練しておかないといけない。 <p>3 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要約シートに図を用いたことで、核兵器の分布を分かりやすく説明できた。 ・友達からの質問で、ミサイルについてもっと知りたくなった。これからも関心を持ってニュースを見ていこう。 ・他のグループの友達とも意見を交流させたい。 	<p>○本時の学習の流れを掲示することにより、学習の見通しがもてるようにする。</p> <p>○各グループにタイマーを用意し、自分たちで進行できるようにする。</p> <p>○児童には、事前に準備した要約カードを示しながら説明するように伝える。</p> <p>○質疑応答のために、メモを取りながら聞いたり、手元に情報ファイルや図書を置いたりしてよいことを伝える。</p> <p>○発表者に対するコメントをふせんに書いて渡すように指示する。</p> <p>○友達のプレゼンテーションのよさに目を向けられるように助言する。</p> <p>○自分のプレゼンテーションのよさやがんばりに目を向けられるように言葉かけをする。</p> <p>◆交流によって得られた新しい考えや、深めた平和への思いをワークシートに記述している。</p>

(3) 本時の評価（おおむね満足と判断される児童の具体例）

- ・異なるテーマを設定した友達に向けて発表し、質問を受けたり意見をもらったりする活動を通じて、平和への思いや考えを広げたり深めたりする。

(4) 研究の視点

- ・要約カードを用いてプレゼンテーションを行ったことは、互いに自分の考えを伝え合うために有効だったか。